

Hiroshima Shudo University

後援会だより

2026 | Vol.24

学生の
キャンパスライフを
サポートする
後援会の取り組みを
お届けします。



広島修道大学後援会

2025年度
後援会
特別事業

2号館1階 学生ラウンジ テーブル・イスの更新

友達とおしゃべりする、みんなで勉強する、1人で集中する、何となくゆっくり過ごす…。
“自分らしい”がある、“みんなの”ラウンジが出来上がりました。
連日多くの学生が利用しています。

【にぎわいエリア】

友達と一緒に勉強したり、おしゃべりしたり。
学生同士が集い、コミュニケーションを交わす場として。



【落ち着きエリア】

小人数・1人で過ごせる落ち着いたエリア。
ベンチに腰掛けちょっと休憩したり、
1人掛けソファで静かに過ごしたいときにも。



目次

Contents

後援会会長あいさつ 2	
— 豊かな環境から生まれる希望 —	
学長あいさつ 3	
— 「修道」の実践 —	
学部長からのメッセージ 4	
— 会員の皆さまへ —	
特集1	
2026年度 後援会総会 6	
2026年度後援会総会報告 6	
2025年度後援会事業報告 7	
2026年度後援会事業計画／2026年度後援会役員名簿 8	
2025年度収支決算 9	
2025年度事業基金特別会計収支決算／貸借対照表／預金等内訳 9	
2026年度収支予算 10	
2026年度事業基金特別会計予算 10	
講演会	
未来を生き抜く力ー脳科学が導く学びと自立ー 11	
脳科学者	
茂木 健一郎氏	
2026年度総会アンケート集計結果 14	
特集2	
本と出会い、人と出会い、未来と出会う	
広島修道大学図書館 16	
学生の成長を支える「知の拠点」／学生の学びを支える3つのPoint	
学生Voice 18	
ゼミ活動、実習科目紹介 20	
それぞれの家族の物語 22	
Campus navi キャンパスナビ 24	
教学センター 26	
学生センター 30	
学習支援センター 36	
国際センター 38	
ひろしま未来協創センター 42	
キャリアセンター 44	
2026年度教育・進路相談会開催のご案内 48	

広島修道大学後援会とは

広島修道大学後援会は、「会員と大学との連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援することを目的とする」組織です。

大学の創立当初より設けられており、本学に在籍する学生の保証人（保護者）を会員としています。



広島修道大学後援会 会長

原 田 直 実 (はらだ なおざね)

豊かな環境から生まれる希望

会員の皆さま方には、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

保証人の皆さまを会員とする私ども後援会は、「会員と大学との連繫を密にし、会員相互の親睦を図るとともに、大学の教育研究活動を後援すること」を目的として、大学創立と同時に発足し、快適な教育環境をつくる取り組みを行っております。

広島修道大学は、緑に囲まれる豊かな場所で多くの人たちと出会い、感性を磨きながら学業に集中することのできる素晴らしい環境にあります。5月23日に開催しました後援会総会では多くの皆さまにご参加いただき、学食体験やキャンパスツアーなど、学生生活に触れる体験をしていただきました。講演会では、脳科学者の茂木健一郎先生も広島修道大学の緑に囲まれた環境を絶賛しておられました。

現在は、約6,500名の学生がそれぞれの目標を持ちながら、学業やサークル活動、ボランティア活動など幅広い内容で、仲間とともに一生懸命に取り組んでおります。

後援会は、このような学生たちの支援を目的としており、大学の協力を得ながら、サークル活動や就職活動などの学生生活に関する助成の他、100円朝食など健康面や経済面においてもサポートする取り組みを行っております。

9月から10月にかけて開催される教育・進路相談会は、本学及び岡山、松江、山口で予定され、卒業生による就職活動の体験談に加え、普段は接点のない教職員の方々と個人面談のできる貴重な情報交換の時間もご用意しておりますので、ご参加いただければと思います。

本誌「後援会だより」は、大学の活動紹介や学生の声など、学生生活に有益な情報がまとめられておりますので、理解を深めていくツールとしてご活用ください。

後援会員同士の交流だけでなく、教職員の方々との交流を密に図り、会員の皆さまのご意見、ご要望もしっかりと受け止めながら、より良い後援会活動となるように取り組んで参りたいと思います。

後援会は広島修道大学で学ぶ学生たちが、夢や希望を持って行動し、充実した学生生活が送れるように、全力で支援して参りますので、皆さまのより一層のご協力とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「修道」の実践



広島修道大学 学長

矢野 泉 (やの いずみ)

後援会会員の皆様には、日頃よりキャンパスライフや教育環境の充実のために、多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

数年前、学位授与式で話したエピソードをご紹介します。その年の卒業生たちは、学生時代の大部分を新型コロナの影響を受けながら過ごしました。ある学生が大学時代に挑戦したい大きな目標は留学でした。留学はコロナ禍でもっともハードルの高いチャレンジの1つでしたが、その学生はその挑戦を実現しました。学生が取り組んだグローバルコース（旧カリキュラムのコース。現在はワールド・ステージ・プログラムとして展開）の修了式で語ったエピソードを今も忘れることができません。

修了式の日朝、学生は目を覚まし、苦しい4年間ではあったけれども最後まであきらめずに努力を積み重ね、この日を迎えたことを感慨深く思ったそうです。そして、コロナ禍でいろいろな困難や不安があったにもかかわらず、海外へ行く自分を許し、応援してくれた親への感謝で心がいっぱいになったと語りました。ここまでの話で、聞いている私たちも胸がいっぱいになりましたが、学生はさらに話を続けました。そんな感謝の思いを胸いっぱいにもちながら朝ごはんを食べていたそうですが、実際目の前にいたお母様へかけた言葉は「ちょっとそこのコップ、取って」だったそうです。「いつもどおり雑に接してしまいましたが、本当は心から感謝しています」と語る学生の表情を、ご家族に見せてあげたいと思いました。

20歳前後の多感な学生の皆さんは、日々さまざまな言動を表に示しています。しかし、それだけが彼らのすべてではなく、その背後には感謝や喜び、不安や迷い等多様な思いが確かに存在していることに、改めて気づかされました。私たちは、その一人ひとりを丁寧に見つめ、それぞれの思いや個性がより良い方向へと育まれていくよう、教育を通じて寄り添っていく責務があると考えています。この姿勢こそが、「修道」の語源である『天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教』（天の命ずるこれを性といい、性に率うこれを道といい、道を修めるこれを教えという）が意味する「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である」ことの実践にほかなりません。

今後もこの実践に取り組んでまいります。引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

商学部



真のビジネスとは？

商学部長 ^{かわ}川 ^せ瀬 ^{まさ}正 ^き樹

昨年8月、マクドナルドのハッピーセットを、おまけのポケモンカードを転売する目的で転売ヤーが買い占めた結果、フードロスが大量発生し、その陰で多くの子ども達が泣きました。私が許せなかったのは、九州のある大学生が「商学部で得た知識を活かして転売して儲けた」と自慢げに語っていた姿でした。商学部は、そんなことをさせるために商学を教えているわけではありません。

確かに商業は「再販売購入」が業務であり、それはすなわち転売です。しかし、そこには生産者と消費者の間に立って商品の流れを円滑にするという重要な役割があり、モラルも求められます。

地理学者である私が尊敬する伊能忠敬は、もともと商人でした。天候不順から不作を予測し、米を大量に買っていた忠敬は、天明の大飢饉の際にその米を村人に無料で配り、村の餓死者ゼロを実現したのです。しかも、余った米は江戸で売り、損はしませんでした。

ビジネスで損をしてはいけませんが、人が不幸になっても自分がボロ儲けすれば良いと考えるのは、真のビジネスと言えるでしょうか。皆が喜べるビジネスこそが真のビジネスだと私は思いますし、商学部の学生には、それを意識してビジネスを学んでほしいと思っています。

人文学部



要約すると消えてしまう言葉

人文学部長 ^{いし}石 ^{づか}塚 ^{ひろ}浩 ^{ゆき}之

昨今、AIを使った業務が当たり前になりつつあります。膨大な文書の要点をまとめるのはAIの得意技のひとつです。しかし、要約で消えてしまう言葉は、不要な情報なのでしょうか。

教育機関としての大学のメインコンテンツは授業であり、その成果が学生の卒業研究です。人文学部では、すべての学科で卒業研究を必修としております。いうまでもなく、卒業研究は、ひとりひとりの学生の学修の集大成であり、学修の成果は卒業研究に集約されています。

一方、サークル活動、ボランティア、大学祭での取り組み、国際交流なども、大学生活の一部です。私自身の大学生活を振り返ると、ゼミの懇親会、サークルの部室、学生食堂などで交わした何気ない会話のなかに、教室での講義以上に記憶に残っている言葉がたくさんあり、人生のふとした瞬間によみがえります。それは、要約すると消えてしまうものかもしれません。けれども、その時、その場にいた人々の気配と一体となって、大学時代のかげがえのない記憶の一部となっています。

広島修道大学のキャンパスには、そのような言葉を育むことのできる多様な空間が用意されています。その多くは後援会のみなさまの日頃のご支援の賜物です。

法学部



法学部の学びの「難しさ」と「楽しさ」

法学部長 ^{おく}奥 ^や谷 ^{たけし}健

法学部での学びは「難しい」といわれます。それは、法律学が大学に入ってから初めて学ぶものだからです。初めてやるのが難しいのは当然ではないでしょうか。もちろん、高校までの学びを基礎としていますが、高校までに勉強していないことに大学で新たに挑戦していくことになるのです。その新たな学びは難しいですが、その学びを通して新たな知識を得るなどの体験が楽しいものになってくれることを私たちは期待して講義をしています。

もう一つ、難しく感じる要因があります。それは正解が一つではないということです。社会問題について正解は一つだけではありません。社会問題を解決するためにはその解決案についてより多くの人に納得してもらう必要があります。より多くの人に納得してもらえる、正しいと思ってもらえるように自分の考えを説明し、説得することは法律学においてとても重要です。そうした力を修得できるように、私たちはゼミナール等を実施しています。

法学部の学びは「難しい」です。しかし、その中に「楽しさ」を見つけ、その学びを通して社会生活に必要な「力」を修得できるよう、しっかりと学生生活を過ごしていただきたいと思います。



経済科学部



社会に求められる人材へ

経済科学部長 **い 井 幸 平**

経済科学部では、「現代の経済社会・情報社会に求められる高度な知識と技術を有する人材」の養成を目指しています。

現代の社会においては、知識や技術を使いこなすだけでなく自ら課題を見つけ出し、解決する能力が求められるようになってきました。こうした社会の要請に応えるべく、企業・自治体・そして他大学の学生と共同で地域課題に取り組む産学官連携の授業も実施しています。先日、ご協力いただいている企業の方に経済科学部の学生の印象をうかがったところ、他大学の学生を含めたグループ内でも積極的に活動し、リーダーシップを発揮する場面も多いとおっしゃっていただき、大変嬉しく思いました。授業終了後に実施された報告会でもみな堂々とした発表を行っており、日々の学びが実を結ぶ様子を実感しています。

社会から求められる能力はますます多様に、かつ高度になっていくと思いますが、学生たちはしっかりと前を向いて取り組んでいます。努力を続ける学生たちに応えられるよう、我々も研鑽を重ねてまいりたいと思います。

人間環境学部



学生さんの目の輝き

人間環境学部長 **さん ぼ ん ぎ 至 宏**

後援会会員の皆様には、日ごろから広島修道大学の教育研究を支えていただき厚くお礼申し上げます。この度、川村邦男先生の後を継ぎまして人間環境学部長に就任しました。私は昨年4月、自身5つ目の大学として本学に着任しました。バス停を降りて本館に向かうならかな坂道沿いのツツジの色とりどりの変化に四季の移り変わりを感じた幸せな1年間を過ごしました。

そして、何よりも授業中の学生さんの目の輝きに感動しております。人間環境学部で行われている多様な分野の研究を紹介する授業、「人間環境学概論」の1回分を担当しました。学生さんのコメントから、「人間の活動が海の生態系にどのような影響を与えるのかについて学びたい」とはっきりと目指す方向が決まっている学生さんもいれば、これから何を学んでいこうか試行錯誤している学生さんもいることが分かりました。学生さんには、その目の輝きを持ち続け、卒業するまでに何か1つでよいので没頭できることを見つけてもらいたいと願っております。後援会会員の皆様には、引き続きご協力をいただけますようお願い申し上げますとともに、皆様方のますますのご発展をお祈り申し上げます。

健康科学部



大学が淘汰される時代に強靱な教育力を

健康科学部長 **な か に し だ い す け 中 西 大 輔**

私立大学の半数以上が定員割れを起こしており、財務省は2040年までに私立大学を4割程度削減すべきだと主張しています。幸いにも本学は定員割れを起こしていませんが、少子化が進む時代だからこそ、私たちは現状に安住することなく教育の質を高め続けなければなりません。大学には地域を支える人材を育成し、高等教育へのアクセスを確保する重要な役割があります。しかし、それだけで十分でしょうか。大学教育そのものが学生の成長にどのような価値をもたらしているのかを、私たちは絶えず問い続ける必要があります。10代後半から20代前半は、人が大きく成長する時期です。だからこそ大学には、その成長を後押しし、より高い水準の知的成長へと導く責任があります。そのためには、学生が卒業時にどのような力を身につけているのかを検証し、教育の成果を社会に示していくことが求められます。大学は教育機関であると同時に研究機関でもあります。研究者である教員が最先端の知見を創出し、その成果を教育に還元することは大学の大きな特徴です。私たち教員一人ひとりが不断の研鑽を重ね、自らの教育を省みながら学生の成長に真摯に向き合っていきたいと考えています。

国際コミュニティ学部



元気が出てきます

国際コミュニティ学部長 **ひろ も と ま さ ゆ き 広 本 政 幸**

今年度の初めに、国際コミュニティ学部の1年生全員に、私から話をする機会がありました。人、社会、地域のためにがんばることを目指して勉強をする学部、皆さんのような若い人たちが入学してくれたことを、ありがたく思っていますと、伝えました。言語や文化が違う人がいても、助け合いながら暮らせる社会をつくることに貢献したり、地域で困っている人がいれば、人と協力しながら地域の問題に取り組んだりすることを目指す学部、若い人たちが入学してくれたことを、ありがたく思いました。

社会や地域のためにがんばるということは、実感を持ちにくいことかもしれませんが、ご家族、友だち、お世話になった人に、ありがたく思ってもらえるようなことをしたい、恩返しをしたい、住み慣れた地域でこれからも元気にすごしてもらいたい、といった気持ちで、自身に何ができるだろうかと、学部で在籍する学生の皆さんが、考えてくれているのではないかと、思っています。若い人たちが、人、社会、地域のためにがんばってくれる様子を見せてもらっているのですが、その様子を見ていますと、元気が出てきます。

2026年度 後援会総会

2026年5月23日(土) 10:00-16:00

後援会総会

場 所：本学3号館3101教室

出席者：後援会役員及び会員（保証人）

議 案：

1. 2025年度後援会事業報告並びに収支決算について
 2. 2026年度後援会事業計画並びに予算について
 3. 広島修道大学後援会会則の改正について
- 審議の結果、上記議案は承認されました。

大学現状説明・講演会・学食体験・キャリア
センターガイダンス・サークルパフォーマンス・
学部別説明・キャンパスツアー

〔大学現状説明〕 学長 矢野 泉

〔講演会〕

講師：脳科学者 茂木 健一郎氏

演題：未来を生き抜く力

ー脳科学が導く学びと自立ー

● 2025年度後援会事業報告

1. 後援会総会等、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月24日(土)
10:00～10:30 (参加者数219名)
後援会総会終了後
【大学現状説明・講演会】
10:30～11:50 (参加者数248名)
【学食体験】／
【学部別説明会・キャリアセンターガイダンス】
12:00～13:50 (参加者数240名)
【個人面談】／【キャンパスツアー】
14:00～15:30 (教員面談参加者数46組)
- (2)評議員会 (年3回)
第1回 4月30日(水) 広島ガーデンパレス
第2回 12月10日(水) むさし土橋店
第3回 2月25日(水) 広島ガーデンパレス
- (3)理事会 (年3回)
第1回 4月23日(水) Zoom 開催 (広島修道大学)
第2回 11月26日(水) Zoom 開催 (広島修道大学)
第3回 2月18日(水) Zoom 開催 (広島修道大学)

2. 学生生活に関する助成

- (1)授業やサークル活動の一環として行われる懇親会に参加する教職員への助成 (170件)
(2)サークル活動の随行に係る経費の助成 (185件)
(3)就職活動支援
(4)全国大会等出場サークルの奨励
(個人20名・団体14サークル等)

3. 卒業記念品の贈呈 (名刺入れ)

卒業生へ卒業記念品として、名刺入れを贈呈しています。広島修道大学のシンボルマーク入りのもので、卒業後の名刺交換の際には、卒業生同士の出会いに役買っているようです。

Pick Up!

やました ゆうた
山下 祐汰さん

人文学部 社会学科 2026年3月卒業
就職先: 株式会社エネコム

卒業に際し、心のこもった記念品をいただき、誠にありがとうございました。日々の営業活動で大変重宝しております。

卒業後は株式会社エネコムに就職し、法人向けの通信回線を提案・販売する業務に携わっています。

まだまだ未熟ではございますが、職場の先輩方に支えられながら日々業務に励んでおります。大学での学びを糧に、これからも精進してまいります。



4. 保証人向け後援会ガイダンス、教育・進路相談会の実施

- (1)保証人向け後援会ガイダンス
(全学部新入生保証人対象)
4月1日(火) 入学式終了後 14:40～15:00
- (2)教育・進路相談会 本学会場及び地区会場
開催会場別参加者数
本学 (9/13) 95名 福山 (9/27) 14名
松江 (10/4) 17名 山口 (10/18) 14名

5. 広報活動

- (1)「後援会のしおり」の発行 (4月)
(2)「後援会だより」の発行 (8月)
(3)後援会WEBサイトの更新



4月 後援会のしおり
(年1回発行)



8月 後援会だより
(年1回発行)

全国大会出場サークル (2025年度実績) 団体

サークル名	大会名	開催月
合気道部	第62回全日本合気道演武大会	5月
卓球部	第94回全日本総合卓球選手権大会	7月
弓道部	第73回全日本学生弓道選手権大会	8月
準硬式野球部	清瀬杯第57回全日本大学選抜準硬式野球大会	8月
軟式庭球部	第79回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	8月
少林寺拳法部	第59回少林寺拳法全日本学生大会	11月
少林寺拳法部	2025年少林寺拳法全国大会 in かながわ	11月
空手道部	第69回全日本大学空手道選手権大会	11月
テコンドー部	第37回全日本学生テコンドー選手権大会	12月
FC フェルテ	アットホームチャンピオンシップ2025第14回大学同好会サッカーフェスティバル	12月
剣道部	第19回全日本学生剣道オープン大会	12月
FC フェルテ	SECOND STAGE CHAMPIONS CUP 2025-2026	2月
ラクロス部(女子)	第4回ラクロス全日本学生新人選手権大会ーあかつきカップー	3月
ラクロス部(男子)	第4回ラクロス全日本学生新人選手権大会ーあかつきカップー	3月

個人

サークル名	大会名	開催月
空手道部	第69回全日本学生空手道選手権大会	7月
水泳部	第101回日本学生選手権水泳競技大会	9月
ラグビー部	第79回国民スポーツ大会	10月
水泳部	全日本インカレオープンウォータースイミング2025	10月
軟式庭球部	第79回国民スポーツ大会	10月
卓球部	第91回全日本大学総合卓球選手権大会	10月
準硬式野球部	第43回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11月
法律研究会	第75回全日本学生法律討論会	12月
スカッシュ部	第52回全日本学生スカッシュ選手権大会	12月
ダンスサークル	第11回全日本大学ストリートダンス選手権決勝大会	3月

6. 特別事業の実施

単年事業

- (1)広島修道大学 新体育館建設事業寄附
(2)2号館1階学生ラウンジ テーブル及び椅子の更新
(表見開きページに詳細記載)
(3)花の植栽
(P.10「これまでの特別事業紹介」参照)

7. 特別事業のための基金積立

年会費の10%相当額を事業基金として積立

● 2026年度後援会事業計画

1. 後援会総会、評議員会、理事会の開催

- (1)総会 5月23日(土) 10:00~10:30
 (2)評議員会 年3回
 第1回 4月22日(水) ザ・ロイヤルパークホテル
 広島リバーサイド
 第2回 12月9日(水) むさし土橋店
 第3回 2月24日(水) 広島ガーデンパレス
 (3)理事会 年3回
 第1回 4月15日(水) Zoom 開催(広島修道大学)
 第2回 11月25日(水) Zoom 開催(広島修道大学)
 第3回 2月17日(水) Zoom 開催(広島修道大学)

2. 学生生活に関する助成

- (1)サークル活動の随行に係る助成
 (2)就職活動支援
 (3)全国大会等出場サークルの奨励
 (4)学生朝食援助(100円朝食の通年実施)

3. 卒業記念品の贈呈

4. 大学現状説明・講演会・学食体験・キャリアセンターガイダンス・サークルパフォーマンス・学部別説明・キャンパスツアーの実施

5月23日(土) 後援会総会終了後

大学現状説明	10:30~10:50
講演会	11:00~12:30
学食体験	12:30~13:30
キャリアセンターガイダンス	13:30~13:50
サークルパフォーマンス	13:50~14:30
学部別説明	14:40~15:10
キャンパスツアー	15:10~16:00

5. 保証人向け後援会ガイダンス、教育・進路相談会の実施

- (1)保証人向け後援会ガイダンス
 (全学部新入生保証人対象)
 4月1日(水) 入学式終了後
 15:00~15:20 (体育館)
 (2)教育・進路相談会 本学会場及び地区会場
 (日程等は P.48 「教育・進路相談会開催のご案内」参照)

6. 広報活動

- (1)「後援会のしおり」の発行(4月)
 (2)「後援会だより」の発行(8月)
 (3)後援会 WEB サイトの更新

7. 特別事業の実施

- 単年事業
 (1)ボトル給水型冷水機の設置(2台)
 (2)修大フォーラム2階学生ラウンジ テーブル及び椅子等の更新
 (3)花の植栽

8. 特別事業のための基金積立

年会費収入の10%相当額を事業基金として積立

● 2026年度後援会役員名簿(敬称略)

【後援会会員】

役員名	氏名	学年
会長	原田 直実	3年
副会長	明木庵寿敏	4年
	飛谷美智明	4年
理事	岡本 美彦	4年
	岩男 道治	4年
	藤岡 崇光	3年
	島尾亜矢子	3年
監事	北川 賢一	4年
	漆谷 恵美	3年
評議員	中尾 尚子	4年・2年
	井川 孝枝	4年
	内堀 正明	4年
	小松 弘明	4年
	舟木 正和	4年
	阿部 恭子	4年
	新井めぐみ	4年
	橘 英樹	4年
	津田 貴之	3年
	秦 英子	3年
	伊藤 真哉	3年
	山田 正彦	3年
	山本 亜希	3年
	香川 直美	2年
	高橋 淑恵	2年
	藤堂 宏憲	2年
	柳本さくら	2年
	高田 幸紀	2年
	宮本美智子	2年
	高橋 紀子	2年
	濱縁 法幸	2年
	(新) 金本 蘭香	4年・1年
	(新) 吉山 綾子	4年
	(新) 大倉 孝弘	3年
	(新) 内坂 公宣	2年

評議員	(新) 不動 康江	1年
	(新) 伊藤 洋子	1年
	(新) 佐野麻由子	1年
	(新) 花田 健司	1年
	(新) 松井加奈子	1年
	(新) 渡邊 理恵	1年
	(新) 藤城沙都子	1年
	(新) 東山由美子	1年
	(新) 綿井 秀明	1年
	(新) 大塩 智子	1年
	(新) 坂川 美香	1年
	(新) 佐々岡弘子	1年
	(新) 鐘築 美穂	1年

(新)は【後援会会員】新任評議員

【大学教職員】

役員名	氏名	役職
顧問	矢野 泉	学長
	佐渡 紀子	副学長
	羅 星仁	副学長
	大澤 真也	副学長
	山川 肖美	副学長
	吉田 輝美	大学事務局長
理事	森河 亮	学生センター長
	山尾 涼	教学センター長
	森岡 一憲	キャリアセンター長
	古川亜衣子	総務部長
	岡田 武士	総務課長
評議員	川瀬 正樹	商学部長
	石塚 浩之	人文学部長
	奥谷 健	法学部長
	井寄 幸平	経済科学部長
	三本木至宏	人間環境学部長
	中西 大輔	健康科学部長
	広本 政幸	国際コミュニティ学部長

● 2025年度 収支決算

(2025年4月1日～2026年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位：円)

【収入の部】

科 目	2025年度予算	2025年度決算	差 異
1. 会費収入	29,560,000	31,170,000	△ 1,610,000
2. 雑収入	0	0	0
3. 受取利息	250	47,204	△ 46,954
4. 預り金受入	150,000	191,819	△ 41,819
小 計	29,710,250	31,409,023	△ 1,698,773
5. 前年度繰越金	14,217,141	14,217,141	0
合 計	43,927,391	45,626,164	△ 1,698,773

【支出の部】

科 目	2025年度予算	2025年度決算	差 異
1. 助成費	7,677,000	9,012,498	△ 1,335,498
①学生懇談費	1,000,000	1,020,000	△ 20,000
②随行費	4,700,000	4,011,628	688,372
③就職援助費	400,000	399,960	40
④サークル援助費	800,000	720,000	80,000
⑤学生朝食援助費	777,000	2,860,910	△ 2,083,910
2. 事業費	10,350,000	7,158,327	3,191,673
教育懇談費	2,450,000	2,110,044	339,956
①印刷費	450,000	280,291	169,709
②通信費	600,000	552,104	47,896
③旅費交通費	500,000	308,500	191,500
④懇談費	500,000	389,660	110,340
⑤諸費	400,000	579,489	△ 179,489
広報費	3,670,000	1,848,283	1,821,717
①後援会だより	3,450,000	1,691,533	1,758,467
②後援会のおしり	220,000	156,750	63,250
卒業記念費	4,230,000	3,200,000	1,030,000
3. 庶務費	7,052,000	5,928,393	1,123,607
①印刷費	20,000	0	20,000
②通信費	20,000	11,833	8,167
③慶弔費	1,300,000	780,000	520,000
④消耗品費	150,000	98,974	51,026
⑤会議費	1,500,000	957,110	542,890
⑥交通費	200,000	195,600	4,400
⑦業務委託費	0	0	0
⑧人件費	3,850,000	3,778,390	71,610
⑨諸費	12,000	106,486	△ 94,486
4. 特別事業費	8,450,000	8,444,650	5,350
①新体育館建設事業寄附	5,000,000	5,000,000	0
②2号館1階学生ラウンジ テーブル及び椅子の更新	2,700,000	2,691,150	8,850
③花・球根植栽	750,000	753,500	△ 3,500
小 計 (1～4)	33,529,000	30,543,868	2,985,132
5. 基金積立額	2,956,000	3,117,500	△ 161,500
6. 期末未払金	△ 2,000	△ 1,540	△ 460
7. 預り金支払	150,000	185,812	△ 35,812
8. 予備費	7,292,391	0	7,292,391
9. 前期末未払金支払支出	2,000	1,540	460
10. 次年度繰越金	0	11,778,984	△ 11,778,984
合 計	43,927,391	45,626,164	△ 1,698,773

広島修道大学後援会の2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）における収支決算書、貸借対照表について監査を行いました結果、適正であることを確認しました。

監事 北川 賢一、漆谷 恵美

● 2025年度事業基金特別会計 収支決算

(2025年4月1日～2026年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位：円)

【収入の部】

科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 金	25,082,521	
当 期 基 金 積 立	3,117,500	会費収入（31,175,000円）の10% （6,235名：減免者を除く）
当期預金利息収入	24,882	
合 計	28,224,903	

【支出の部】

科 目	金 額	備 考
次 年 度 繰 越 金	3,224,903	
新体育館建設事業寄附	25,000,000	
合 計	28,224,903	

● 貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	26,302	次 年 度 繰 越 金	11,778,984
普通預金(一般会計)	11,752,682		
普通預金(特別会計)	107,403	基 金 積 立 金	3,224,903
定 期 預 金	3,117,500		
合 計	15,003,887	合 計	15,003,887

● 預金等内訳 (2026年3月31日現在)

(単位：円)

銀 行 名 等	金 額	備 考
1. 現金	26,302	一般会計
2-1. 普通預金	11,752,682	一般会計
広島銀行 安支店 0168955	11,346,287	
もみじ銀行 西風新都支店 0016053	293,278	
広島信用金庫 沼田支店 0115237	113,117	特別会計
2-2. 普通預金	107,403	
広島銀行 安支店 3332878	107,403	特別会計
3. 定期預金	3,117,500	
広島銀行 安支店 3081764	0	
もみじ銀行 西風新都支店 0018269	0	
広島信用金庫 沼田支店 0428602	3,117,500	
合 計	15,003,887	

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

● 2026年度 収支予算

(2026年4月1日～2027年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位:円)

【収入の部】			
科 目	2026年度予算	2025年度予算	増 減
1. 会費収入	30,370,000	29,560,000	810,000
2. 雑収入	0	0	0
3. 受取利息	40,000	250	39,750
4. 預り金受入	150,000	150,000	0
小 計	30,560,000	29,710,250	849,750
5. 前年度繰越金	11,778,984	14,217,141	△ 2,438,157
合 計	42,338,984	43,927,391	△ 1,588,407

【支出の部】			
科 目	2026年度予算	2025年度予算	増 減
1. 助成費	10,400,000	7,677,000	2,723,000
①随行費	4,700,000	4,700,000	0
②サークル援助費	800,000	800,000	0
③学生朝食援助費	4,500,000	777,000	3,723,000
④就職援助費	400,000	400,000	0
学生懇談費	0	1,000,000	△ 1,000,000
2. 事業費	10,580,000	10,350,000	230,000
教育懇談費	2,550,000	2,450,000	100,000
①印刷費	450,000	450,000	0
②通信費	700,000	600,000	100,000
③旅費交通費	500,000	500,000	0
④懇談費	500,000	500,000	0
⑤諸費	400,000	400,000	0
広報費	3,800,000	3,670,000	130,000
①後援会だより	3,500,000	3,450,000	50,000
②後援会のしおり	300,000	220,000	80,000
卒業記念費	4,230,000	4,230,000	0
3. 庶務費	7,652,000	7,052,000	600,000
①印刷費	20,000	20,000	0
②通信費	20,000	20,000	0
③慶弔費	1,300,000	1,300,000	0
④消耗品費	150,000	150,000	0
⑤会議費	1,500,000	1,500,000	0
⑥交通費	200,000	200,000	0
⑦業務委託費	0	0	0
⑧人件費	4,450,000	3,850,000	600,000
⑨諸費	12,000	12,000	0
4. 特別事業費	8,000,000	8,450,000	△ 450,000
①ボトル給水型冷水機(2台)設置	2,200,000	0	2,200,000
②フォーラム棟2階学生ラウンジテーブルおよび椅子の更新	5,000,000	0	5,000,000
③花・球根植栽	800,000	750,000	50,000
新体育館建設事業寄附	0	5,000,000	△ 5,000,000
2号館1階学生ラウンジテーブル椅子の更新	0	2,700,000	△ 2,700,000
小 計	36,632,000	33,529,000	3,103,000
5. 基金積立額	3,036,500	2,956,000	80,500
6. 期末未払金	△ 2,000	△ 2,000	0
7. 預り金支払	150,000	150,000	0
8. 予備費	2,520,484	7,292,391	△ 4,771,907
9. 前期末未払金支払支出	2,000	2,000	0
10. 次年度繰越金	0	0	0
合 計	42,338,984	43,927,391	△ 1,588,407

(注) 差異の欄の△印は、収入の部では収入増を表し、支出の部では支出超過を表す。

● 2026年度事業基金特別会計 予算

(2026年4月1日～2027年3月31日)

広島修道大学後援会
(単位:円)

【収入の部】		
科 目	金 額	備 考
前 期 繰 越 金	3,224,903	
当 期 基 金 積 立	3,036,500	会費収入の10% (2026年度会費減免者及び2025年度基金積立以降に減免した1名を除く)
当期預金利息収入	9,000	
合 計	6,270,403	

【支出の部】		
科 目	金 額	備 考
次 年 度 繰 越 金	6,270,403	
合 計	6,270,403	

これまでの特別事業紹介



食堂棟前鉄製ベンチ・テーブル再塗装
(2024年度)



学内冷水機をボトル給水型冷水機へ更新
(2024年度)



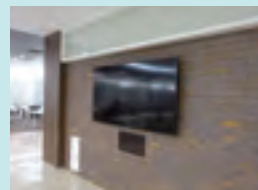
100円ランチキャンペーン
(2021～2023年度)
後援会ランチキャンペーン(2023年度)



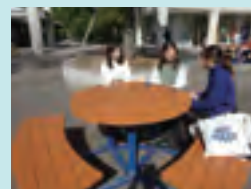
食堂棟北側広場改修
(2022年度)



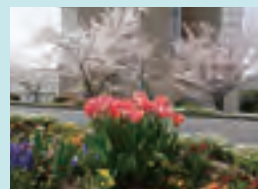
修大フォーラム棟
屋外ウッドデッキの修繕(2020年度)
屋外ステージ屋根テントの張替(2021年度)



デジタルサイネージの設置
(2011年度、2015年度、2016年度、2020年度)



修大フォーラム前ベンチの設置
(2019年度)



花の植栽

アイデア募集!!

後援会では、快適なキャンパスライフのお役に立てるような事業を考えています。
皆さまからもアイデアや要望がありましたら、ぜひお寄せください。

(後援会事務局E-mail: kouyu@js.shudo-u.ac.jp)

未来を生き抜く力

—脳科学が導く学びと自立—



脳科学者

講師

茂木 健一郎 氏

■ プロフィール

東京大学理学部・法学部卒業、同大学院理学系研究科修了（理学博士）。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員、東京大学大学院特任教授・客員教授などを務める。2021年4月より屋久島おおぞら高等学校の校長に就任。脳科学・認知科学を専門とし、「クオリア」を中心とした意識の研究や、人工知能と人間の脳の関係を探るAI alignment研究に取り組む。



1 「自己肯定感」とは強くなることではない

「本当の自己肯定感とは、『今の自分でいいや』と思えることなんです。」

実はさっきまで、今僕が関わっているおおぞら高校でコーチをしてくださっている修道の卒業生の方と一緒に、このキャンパスを“旅ラン”してたんですよ。動画も撮ったので、興味があったら後でぜひ見てください。（YouTube「茂木健一郎の脳の教養チャンネル」）

それで、ちょっと調子に乗りすぎましてね、転んじやったんです。iPhoneで自撮りしながら走ってたら、バーンって飛んでいって。まあ本当に軽い擦り傷なんですけど、もし動きが変だったらそういう事情です（笑）。

この緑豊かなキャンパス、本当に素晴らしいですね。今日のタイトルは「未来を生き抜く力—脳科学が導く学びと自立—」なんですけど、今日のお話は皆さん自身にも、これからの人生の参考になると思うんですが、特に今、社会に出て「どうしようかな」と迷っている学生さんたちに、ぜひ伝わってほしいなと思っています。

録音でも何でも、自由にしてください。本当に今日は若い人たちに伝えたいことがあって来ています。

僕は今、屋久島おおぞら高校の校長もやっているので、学生たちと話す機会が本当に多いんです。そこでいつも思うのは、「自己肯定感」とか「個性」って、今の若い人たちにとってすごく大きなテーマなんだなってことですよ。

でもね、「自己肯定感を持ちなさい」って言われると、多くの子が勘違いしちゃうんです。欠点があっちゃいけないとか、強くなきゃいけないとか。今の時代って、なんか「強キャラ」が求められてる感じあるじゃないですか。

僕、ひろゆきっていう友達がいるんですけど。あの、「2ちゃんねる」作った人ですね。彼なんか、いつも強いじゃないですか。「それってあなたの感想ですよ」って、小学生でも知ってるくらい有名になったけど、僕はもっと前から知ってるんですよ。確かに彼は自己肯定感が強い。何を言われても崩れない。

あと堀江貴文。まあネットで悪そうなやつ、だいたい友達なんですけど（笑）。堀江さんも強いんですよね。誰に何を言われても、「うるせえんだよ」で返していく。

でもね、じゃあ若者が自己肯定感を持つって、「ひろゆきや堀江みたいになれ」ってことなのか。僕は違うと思うんですよ。もちろん、ああいう人がいてもいい。でも、みんながああならなきゃいけないわけじゃない。

だって、自分の子どもが「ひろゆきみたいになれません」「堀江みたいに強くありません」って言ったら、じゃあ自己肯定感ないのかっていうと、それは違うでしょう。

じゃあ本当の自己肯定感って何なのか。僕はね、「今の自分でいいや」って思えることだと思うんです。「しょうがねえな、自分は」って受け入れられること。

実は僕、自分で言うのも変ですけど、人生で一度も「自己肯定感が高いな」って思ったことがないんですよ。女子アナの人たちと仕事すること多いんですけど、みんな自己肯定感が高いんですよ。「私イケてるでしょ」っていう感じ。でも僕、一度もそういう感覚になったことがない。

英語だってそうです。帰国子女の人って、「英語しゃべれるの普通ですけど？」みたいな空気あるじゃないですか。

でも僕、実はめちゃくちゃ英語できるんですよ。TEDでも話してるし、本も英語で出してるし、『生きがい』なんてドイツでベストセラーになった。でも、それでも「自分は英語ダメだな」ってずっと思ってる。

学歴だってそうです。東大に11年いたんですよ。物理学科出て、法学部にも行って、大学院にも行って。でも、「東大すごいでしょ」なんて、一度も思ったことがない。だってアインシュタインと比べたら、自分なんて全然だし。

ルックスだってそう。有吉弘行に「賢いホームレス」ってあだ名つけられたんだから（笑）。昨日も広島駅でお好み焼き食べようと思ったら人が多すぎて、結局吉野家入ったんだけど、そこでキムタクのポスター見てさ。「同じ人類なのか？」って思うわけですよ（笑）。

だから、学歴でも、能力でも、ルックスでも、僕はずっと「自分なんて



まだまだ」って思ってる。誰かにマウンティングしたいと思ったこともないし、「俺は偉い」なんて感じたこともない。でもね、それでもいいんですよ。脳科学的に言う“本当の自己肯定感”って、「自分は完璧だ」って思うことじゃない。「ありのままの自分を受け入れられるか」なんです。今って、“意識高い系”の人、たくさんいるじゃないですか。お金とか学歴とか、国際的なキャリアとか、「私は違うんです」ってアピールする人たち。でも、ああいうのと本当の自己肯定感は全然違う。本当の自己肯定感って、「まあ自分はこういう人間だよな」って、欠点も含めて「自分をありのまま受け入れること」なんです。

2 挑戦を支える「安全基地」

『今の自分でいい』『ここから始めるしかない』。そう思える場所があるから、人は挑戦できるんです。」

脳科学では、それを「安全基地（セキユアベース）」って言うんですよ。脳って、本来はチャレンジするためにできてるんです。何歳になっても、新しいことに挑戦して、「できなかったことができるようになる」と、ドーパミンが出る。すると脳の神経回路が強化される。これを「強化学習」って言うんですけど、今のAIだって、まさにこれで学習してるわけですよ。

だって皆さん、生まれた時は何もできなかったでしょう？全員赤ちゃんだったわけですよ。最初は立てないし、しゃべれないし、何もできなかった。でも、チャレンジを繰り返したから、今こうやって生きている。

その時に大事なのが、安全基地なんです。「今の自分でいい」「ここから始めるしかない」って思える場所。これがあから、人は挑戦できる。

だから、保護者の役割って本当に大きいんですよ。親は子どもに期待しちゃう。「こうしなさい」「ああしなさい」って。場合によっては、「こういう時はいい子だけど、そうじゃない時はダメ」みたいに、条件付きで認めてしまう。

でも、それをやると安全基地が壊れちゃうんです。安全基地って、「丸ごと受け入れてもらえること」だから。どんなにポンコツでも、「それでもここにいていいんだ」って思えることが大事なんです。

今の時代って、比較ばかりでしょう。「あっちの方が上」「こっちの方がすごい」って。明日朝起きて、突然今田美桜の顔になってたら、その方が幸せなのかっていうと、僕は別にそう思わない。

僕だってキムタクになりたいと思ったことないですよ（笑）。自分は自分だから。この奇妙で、みっともない感じも含めて、自分なんです。

人生って、本当は別の道もあったかもしれない。あっちに行ったら違う人生だったかもしれない。でも、今ここに自分がいるっていうのは、もう動かしようのない事実なんです。

だったら、ここを出発点にするしかない。チャレンジできる場所って、「今の自分」しかないから。

だから、今の若い人たちを見ていて、一番もったいないなと思うのは、「今の自分が嫌だ」って思ってることなんです。『これが足りない』『あれがダメだ』って。

僕、自分が「自己肯定感は低い」って言っただけど、安全基地という意味では、めちゃくちゃ自己肯定感が高いんですよ。要するに、「しょうがねえよな、ここからやるしか」って開き直ってるんです。

だから、ぜひ子どもたちに伝えてほしいんです。「あなたの安全基地はここにしかないんだよ」って。家庭に不満があるかもしれない、自分のこと嫌かもしれない。でも、出発点はここしかないんだって。

3 幸せは「今ここ」にある

『本当の幸せって、他人と比べて勝つことじゃないんですよ。』

僕ね、堀江貴文が刑務所にいた時、面会に行ったことがあるんですよ。あの人、昔は本当に派手な生活してた。高級な肉食べて、シャンパン開けて、六本木ヒルズの近くに住んで。でも刑務所で会った時、「茂木さん、今週は一人バナナ半分ずつ出るんだ」って、すごく嬉しそうに言ったんです。

それ聞いて、「ああ、人間ってバナナ半分でも幸せになれるんだな」って思った。

本当の幸せって、他人と比べて勝つことじゃないんですよ。今ここにあるものを受け入れることなんです。

脳科学的には、「幸せになったら終わり」じゃないんですよ。むしろ逆で、「安心できる場所」があるから、人は挑戦できる。安全基地があるから、前に進める。

4 「生きがい」は小さな喜びの中にある

『生きがいって、人に評価されるものじゃないんですよ。』

僕は今の、このポンコツな自分で幸せなんです。「賢いホームレス」って言われても別にいい（笑）。しょぼくて、ダサくて、でも何とか生きてる自分を受け入れてる。

僕がずっと大事だと思ってるのが、「生きがい」なんです。

僕は、生きがいって「小さな喜び」だと思うんです。

犬の散歩をするとか、朝コーヒーを飲むとか。僕だったら、蝶々が飛んでるのを見るだけで幸せなんです。子どもの頃から蝶の研究してたから。

しかも、生きがいって、人に評価されるものじゃないでしょう。犬の散歩に点数つける人いないじゃないですか。

「今日の散歩、87点です」とか（笑）。コーヒー飲んで、「今日は63点ですね」なんて誰も言わない。

でも今の世の中って、何でも点数つけたがる。給料、フォロワー数、再生回数。「どれだけか」もう本当にうるさい（笑）。

僕、宮崎駿さんを取材したことがあるんです。『崖の上のポニョ』の頃ですね。あの人、生きがい作品作ってるんですよ。これで儲かるとか、賞を取るとかじゃない。

『となりのトトロ』だってそうでしょう。まっくろくろすけがいて、トトロがいて、ネコバスがいて。あれって、「子どもの頃のワクワク」がそのまま残ってるから、人の心を動かすんです。

おおよそ高校にも、漫画やイラストが好きな子がたくさんいるんです。もちろん全員が大ヒット漫画家になれるわけじゃない。でも、「描くのが好き」なら、その時点で生きがいなんです。





その意味では、宮崎駿も、その子たちも同じなんです。
ポール・マッカートニーの『Yesterday』もそうです。あれ、僕はずっと
失恋の歌だと思ってた。でも実は、子どもの頃に亡くしたお母さんへの思い
が背景にある。

「僕が何か悪いこと言ったから、お母さんいなくなっちゃったのかな」っ
ていう、小さくて個人的な悲しみ。そこから、あの世界的名曲が生まれた。
つまり、人の心を本当に動かすものって、小さな喜びとか、小さな悲しみ
とか、そういうものなんです。

スーパーマリオの音楽だってそうでしょう。世界中の人が、あの1-1の
音楽を聞くとワクワクする。あれは「儲けよう」と思って作られたというよ
り、「夢中で遊ぶ楽しさ」がそのまま入ってるんです。

だから僕は思うんです。これからの時代、本当に大事なものは、「他人より上か」じゃなくて、「自分の小さな喜びを
持てるか」なんじゃないかって。

そして、その生きがいを持てる人こそ、本当の意味で、自分を肯定できる人なんだと思うんです。

5 個性を生かし、支え合う社会へ

「何かが苦手ということは、別の何かが得意なことなんです。」

最後に申し上げたいのはね、さっき自己肯定感の話をして、生きがいの話をしましたけど、じゃあなんで世の中が
成り立ってるのかっていうと、「協力し合ってるから」なんですよ。

何かができないって、実はそんなに大したことじゃないんです。

例えば今、AIの会社ってすごいでしょ。僕もこの前サンフランシスコでAIの会議に出てきたんですけど、あ
いう会社の経営者って、別に自分でプログラム書いてないんですよ。

みんな、「AIの会社の社長ならプログラム全部書けるでしょ」って思ってるけど、そんなことない。

チャップリンだってそうです。映画音楽の名曲をたくさん残してるけど、本人はピアノ弾けなかったし、楽譜も読
めなかった。鼻歌で「こういう感じ」って伝えて、それを譜面に起こしてくれる人がいた。

つまり、作曲するのに、必ずしも楽譜が読める必要はないんです。

でも日本の教育って、どうしても「全部自分でできなきゃいけない」って考えがちでしょう。

脳科学的に言うと、何かが苦手っていうことは、別の何かが得意なことなんです。

落語家の柳家花緑師匠って、通知表オール1だったそうです。全部1。本人も、「自分は頭が悪いんだ」って思ってた。

でも大人になって、自分が識字障害、つまり文字を読むのが苦手な脳の個性を持っていたって分かったんです。

文字を読むのは苦手。でも、その代わりに、人の話を耳で聞いて覚える能力がものすごく高かった。だから落語家と
して大成功した。

世界を見ると、スティーブン・スピルバーグも、トム・クルーズも、同じような特性を持ってるんです。トム・ク
ルーズなんて、脚本を読むのが苦手だから、人に読んでもらったりする。でも、だからって誰も「ミッション・イン
ポッシブル」を見ながら、「この人、文章読むの苦手なんだよな」なんて思わないでしょう（笑）。

どうでもいいんですよ、そんなこと。

でも学校だと、「これができない＝問題」ってなりがちなんです。

僕は脳科学者として、そこは違っていて言いたい。

僕自身、最大の欠点の一つは「落ち着きがないこと」です。一人学級崩壊って呼ばれてましたから（笑）。人の話
も聞かない。授業中も、先生の話ちゃんと聞いてなかった。今でも打ち合わせとか苦手なんです。

でも、それでも何とか生きてる（笑）。

だから、チームでやればいいんです。得意なことを持ち寄ればいい。

世の中って、本当はそうやって成り立ってるんですよ。

だから、「自分にできないことがある」っていうだけで、自分を否定する必要なんてないんです。

6 自分らしい未来を生きる

「人間は誰かになるためではなく、自分自身として生きるために生まれてきているんです。」

僕が今日、皆さんに一番お伝えしたかったのは、今の高校生や大学生って、本当に「ちゃんとしていなきゃいけ
ない」と思いすぎているんじゃないか、ということなんです。

いい子でいなきゃいけない。優等生でいなきゃいけない。何かできないことがあると、「もう自分はダメなんだ」っ
て思ってしまう。さらに今は、SNSやインフルエンサーの影響で、どうしても他人と比べてしまう時代ですよ。

でも、僕はそれって本当にもったいないと思うんです。

人間は、誰かになるために生きているわけじゃない。自分自身として生きるために、生まれてきているんです。

だから最後は、自分自身を「安全基地」として、一度しかない人生を生きていくことを大事にしてほしいと思っ
ています。

今日、この緑豊かなキャンパスを見て、「ここで学べる学生さんたちは幸せだな」と本当に感じました。卒業生の
皆さんも、おおぞら高校で素晴らしい活躍をしてくださっていて、とてもありがたく思っています。

ぜひ皆さんも、ご自身はもちろん、お子さんたちにも伝えてあげてく
ださい。

「今の自分を丸ごと受け入れていいんだ」と。

「それを出発点にしていっていいんだ」と。

そして、自分なりの生きがいを持って、いろんなことにチャレンジし
ていけばいい。全部を完璧にできなくていい。得意なことを持ち寄って、
誰かと協力しながら生きていけばいい。

そうやって、自分らしく前に進んでいくことで、きっとその人にしか
ない未来が開けていくんだと思います。

今日は本当にありがとうございました。



茂木 健一郎氏のサイン色紙プレゼント 詳しくは裏表紙をご覧ください。

2026年度 総会アンケート集計結果 (記述式)

※一部抜粋

後援会総会について

- ・資料と説明によるスムーズな進行でした。時間もちょうど良かったと思います。
- ・後援会の役割がよく分かりました。
- ・収支状況や、今年度の予算執行計画について、よく理解できました。

大学現状説明について

- ・地方とのつながりを大切に、地域を率いていく専門的な人材育成を行っているところにとっても魅力を感じました。
- ・歴史など、スライドを使ってわかりやすく話されていました。4年間、娘がお世話になりましたが、修道大学で、この環境で学べて良かったと改めて感じました。
- ・学長のわかりやすいお話でした。広島に根差した大学なんだということもわかりましたし、広島で仕事を探す学生が多いのも理解できました。
- ・学生を大切にしてくださっている気持ちが伝わり、現状もわかりやすかったです。
- ・画面での資料と説明で大学の成り立ちと現状についてとてもわかりやすく理解できました。

講演会について

- ・安全基地を作ること。丸ごと認めること。親として努めていきたい。
- ・「自分のありのままを受け入れることが本当の自己肯定感につながる」というお話が印象に残りました。トークがユニークで、退屈することもなく、とても楽しい有意義な講演会でした。
- ・楽しく、そして考えながら聞かせていただきました。最後の卒業生の方と茂木さんとのやりとりも良かったです。
- ・茂木健一郎氏の講演はこれまでの自身の子育てを振り返る貴重な機会となりました。かなり参考になり有り難いお話でした。これからは息子に過剰に口を出すことをせず、息子を見守っていきたいと思います。
- ・とても楽しく、これからの人生のためになるお話をされて、参加して良かったです。
- ・講演テーマから想像していた内容を、良い意味で裏切られました。「お堅い」話になるのかと予想していましたが、メディアに多数出演される程の講師とあって、話術に引き込まれつつもテーマに沿った内容とあって、満足でした。
- ・テンポも良く内容も濃く、楽しく聞かせていただきました。何時間でも聞いていられるほど勉強になりました。自己肯定感の話は学生にも聞いて欲しいです。後半の卒業生の就活体験も興味深かったです。
- ・わかりやすい内容や表現に集約されていたと感じた。我が子や自分に留まらず、自分が関わる方々とも共有できると感じた。一度しかない人生、楽しみたいと思った。今後もこのような機会があれば参加させていただきたい。
- ・茂木先生の楽しく興味深い話でとても良かったです。あっという間の時間でしたが、お話を聞くことができて良かったと思いました。また、質疑応答も、他の保護者の方の質問やご意見に触れながら、堅苦しくなく有意義な時間でした。このような機会をいただけてありがとうございました。
- ・脳科学者の茂木健一郎先生のお話、大変面白かったです。特に自己肯定感の大切さが大変印象的で、心に刺さりました。帰宅後、早速娘にも共有しました。又、途中から出て来られた修道大学 OB お二人のお話も大変面白かったです。

学食体験について

- ・清潔な施設、設備で安全に学食が提供されており安心しました。ボリュームも味も大変満足です。このような体験の機会はなかなかないので、これからもぜひ続けていただきたいです。
- ・普段大学で子供達が食べている食事を実際体験させていただく事が出来て良かったです。とても美味しくいただきました。ありがとうございました。
- ・子供から聞いていたアルカディアの昼食を食べることができて嬉しかった。身体を気遣いながらも若者も好んで食べられそうなメニューを用意していただいていると思った。
- ・美味しく温かい食事の提供をいつもありがとうございます。体験させていただいた学食もボリュームがあり、とても美味しかったです。食費が高騰する中、デザートまでいただき、細やかなご配慮に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・学生さんもあちらこちらでサポートに入ってくれてとても良かったです。メニューの値段が分かる様になっているといいなと思いました。QR コードなどで、メニュー表に飛びや人気のメニュー順に並ぶなどあればより学食が身近に感じた様に思います。
- ・品数多く、栄養バランス良く、おいしく頂きました。

キャリアセンターによる説明について

- ・具体的な就活スケジュールや実態の説明が参考になりました。スライド資料も分かりやすかったです。
- ・現状をわかりやすく、短時間に説明して頂きました。お話も面白く、聞きやすかったです。
- ・サポートがしっかりしていて、学生にとってありがたいです。そこを上手に利用し、情報を得て活動することが必要だと感じました。
- ・就活の進め方が入学当初とは違い、年々変わってきているのだと感じました。

- ・短い時間で完結明瞭、とても聞きやすかったです。
- ・自分で仕事を選ぶのであり、親が口出しをするようなことではないので、キャリアセンターの説明は要らないのではないかと思っていましたが、現在の学生の就職希望先の傾向や、状況を聞けて、現在の就職活動の事が知れてとても良かったです。
- ・就活のスケジュール、傾向が分かって良かったです。
- ・進路を考える上で大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・子供がこの先就活をしていく上でキャリアセンターでお世話になる事、本当に心強い先生方がいらっしゃる事、ありがたいなと思います。

サークルパフォーマンスについて

- ・学生さん達の一生懸命に演奏している姿を見て感動しました。選曲も良かったです。応援しています。
- ・他のサークルも見たいです。
- ・普段、なかなか演奏を聴く機会がないので、とても癒やされました。素敵な演奏をありがとうございました。
- ・一生懸命頑張っている姿がとても良かったです。
- ・素敵な演奏をありがとうございました。素晴らしかったです。
- ・マンドリンは初めて聞きましたが、とても素晴らしい音色に感動しました。子供にもサークルに入って欲しいなと思いました。
- ・堂々と落ち着いた様子で、挨拶されたりパフォーマンスされたりしていて、すごいなと思いました。練習不足な曲と、演奏し慣れてるであろう曲とで、仕上がり具合が随分違っていました。勉強以外にも楽しくサークル活動に取り組まれている様子に好感持てました。

学部別説明について

- ・学部の学びが具体的によくわかりました。スライドや説明も大変わかりやすくとても満足でした。
- ・現状のリアルな話を聞けて良かった。
- ・サポートの学生がとてもテキパキしてて素晴らしいと思いました。
- ・学部の様子がよく分かりました。ありがとうございました。
- ・分かりやすく説明して下さい、ありがとうございました。学生たちに愛情持って接して頂いている様子で、安心できました。

キャンパスツアーについて

- ・案内してくださった学生さんがとても丁寧な対応で楽しく施設を観覧することができました。普段入ることのない図書館や新体育館を見学できて感激でした。学部別説明からの流れでの開催はスムーズな移動ができて良かったと思います。また、学部ごとのキャンパスツアーだったため、関わりのある教室（模擬裁判教室等）の見学ができて良かったと思いました。
- ・体育館が見たかったので、案内してもらえて良かったです。
- ・学部ごとのツアーはよかったと思います。学生さんががんばっておられ、温かい気持ちで参加できました。説明もわかりやすかったです。また学部長のフォローも厳しい？ながらも温かみを感じました。体育館を見ることができて満足です。
- ・図書館の規模の大きさに圧倒されました。学生だったら利用したかったですね。
- ・学生の方が自らツアーで説明してくださり、学生目線からとても丁寧でわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・さすがの施設と設備で、子どもにもしっかり活用していきなさいと強く伝えたいくなりました。
- ・新しい体育館が本当に綺麗で、自由に使用出来る学生さんは、本当に幸せだなあと感じました。

本日の全プログラムについて

- ・1日参加し、とても恵まれた環境だと感じましたし、そこをしっかりと利用して、充実した学生生活を送ってほしいと思いました。
- ・充実した1日でした。子供が何を学んでいるのか少し知ることが出来ました。
- ・今回三度目の参加です。毎年楽しみにしています。目的は、大学の現状が知りたいのと、今回は就活のお話を聞きたかったです。やはり茂木健一郎氏の講演は素晴らしかったです。かなり心に残りました。素敵な時間をありがとうございました。来年も楽しみにしています。
- ・大学に足を運ぶきっかけになるので、今後も続けてほしい。
- ・全プログラムに参加させて頂いて大学の様子を知ることができました。安心して子供が過ごせていると改めて実感するとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・四年生なので、今年が最後の参加でした。毎年楽しみにしていたので、来年からは寂しいです。

学生向けに、今後してほしい企画は

- ・朝食支援は続けて欲しいです。ラウンジの整備なども、より多くの学生が集える場所の提供としてもっと支援できたら良いと思います。
- ・就活支援、留学支援。
- ・卒業記念品は続けてほしいです。あの名刺入れを持てると修道大学だったのねって、すぐわかるので伝統になればと思います。
- ・学生向けの講演会を実施してほしいです。茂木さんの講演会が良かったので学生も聞けたら良かったとは思いました。

保証人向けに、今後してほしい企画は

- ・就活のリアルが聞ける機会。
- ・就職活動について、もっと詳しく具体的に知りたいです。
- ・模擬授業を受けられる企画があると嬉しいです。現代の大学の授業がどんな風に行われているのか気になります。

広島修道大学 図書館



「学生の成長を支える「知の拠点」

広島修道大学図書館は、本を読む場所にとどまらず、学修支援、就職活動支援、資格取得支援などを通じて、学生一人ひとりの成長を支えています。

学生たちはこの場所で知識を深め、自ら考える力を養いながら、それぞれの未来へ向かって歩みを進めています。



約92万冊の蔵書を誇る広島修道大学図書館。多くの学生が日々利用し、授業や課外活動、将来の進路実現に向けて学びを深めています。



広島修道大学
図書館HPは
こちら



Student Voice

授業の復習や課題、英語の本の読書など、図書館はかなりの頻度で使用しています。

法学部1年
倉本らむさん、仲井里緒さん、
福田梨乃さん



勉強したり、読書をしたり、たまには絵を描いて過ごしています。緑が見えるこの場所がお気に入りです。

健康科学部1年
浮田成実さん



学生の学びを支える3つのPoint

Point 1

学びを支える情報拠点

約92万冊の蔵書を誇る広島修道大学図書館は、授業やレポート作成、卒業研究など、学生の学修を支える重要な情報拠点です。

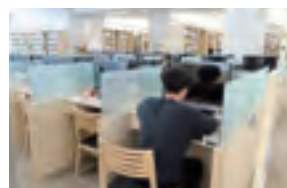
学生は専門書や学術雑誌、電子資料などを活用しながら、自ら情報を収集し、知識を深めています。また、館内では職員による文献検索サポートも行っており、資料の探し方やデータベースの利用方法について相談することができます。



約900席の閲覧席を設置



畳コーナーでリラックスして学習できます



視聴覚コーナーでは動画の視聴などができます

Point 2

進路実現を支える学びの場

図書館は、学生が将来の進路を考え、目標の実現に向けて準備を進めるための学びの場でもあります。

新聞データベースや企業情報、業界研究資料などを活用して就職活動に役立つ情報を収集できるほか、公務員試験や教員採用試験、簿記、FP、TOEICなど資格取得に関する資料も充実しています。

試験前には多くの学生が利用し、それぞれの目標達成に向けて学びを深めています。



グループ学習室は1回最長3時間利用可能



グループ学習室にはPC1台設置



世界各国の新聞を閲覧できます

Point 3

仲間と学び、成長する空間

図書館内には、学生同士が協働して学ぶための「ラーニング・コモンズ」を整備しています。

グループワークやプレゼンテーションの準備、ディスカッションなどに活用されており、仲間と意見を交わしながら学びを深めることができます。

知識を身につけるだけでなく、多様な考え方に触れ、自らの考えを発信する力を養う場として、主体的・対話的な学びを支えています。



ラーニング・コモンズは、事前予約も可能です



読書や勉強の合間に、コーヒーラウンジでリフレッシュ



自習室は時間制限がなく、長時間の学習にもオススメです

今の私たちだからこそできる演奏 マンドリン部

人文学部 英語英文学科 3年 やなぎ はると 柳崎 陽音



いつもの部室で

この度、広島修道大学マンドリン部を代表して執筆いたします、部長兼指揮者の^{やなぎ はると}柳崎陽音です。当部はイタリア発祥の弦楽器を中心に、現在18名で活動しております。和気あいあいとした雰囲気の中、部員一人ひとりが音楽と自分自身に向き合いながら、のびのびと学生生活を送っております。

私自身、大学入学以前は音楽に特別な関心を持っていたわけではありません。しかし、マンドリン部での活動を通して、その新たな魅力に気づかされました。それは「音楽を愉しみ、心動かされている他者の姿を見ること」に、大きな喜びを感じるということです。

このような個人的な経験も踏まえ、今年度の目標は『個人の個性を最大限に活かし、誰一人欠けることなく、観客に感動を届けること』です。技術面だけでなく、部員それぞれの思いに向き合い、自分らしく輝ける環境づくりを大切にしています。

その理想を実現させるために、単に奏者の音量や人数を追い求めるのではなく、今ある環境を最大限に活かすことで生まれる、『広島修道大学マンドリン部だからこそできる演奏』を大切にしています。価値観や部活動との向き合い方が異なるため、意見がぶつかり合うこともありますが、それは互いに学び、成長する機会にもなっています。

当部は、年に一度開催する定期演奏会を主要な行事としています。また、他大学との合同演奏会や学内パフォーマンスにも取り組んでいます。これらの演奏に向けて練習を積み重ね、私たちらしい音楽を創り上げられるよう努めています。

最後に、私たちの挑戦を支え、温かく見守ってくださる大学、先輩方、保護者の皆様、そして私たちの演奏を聴いてくださる観客の皆様に、心より感謝申し上げます。受け取るだけでなく与える立場にもなった今、私たちは、支えてくださる方にも、まだマンドリンと出会っていない方にも感動を届けられるよう、これからも挑戦を続け、より良い演奏を目指してまいります。

自分の直感を信じて。

人文学部 英語英文学科 2年 いわもと あやとし 岩本 礼駿



オックスフォードでの出会い

大学生活はもちろん、人生も選択の連続である。日々、星の数ほどある選択肢の中から道を切り開いていくわけですが、私は『あ、面白いかも、やってみよう!』という自分の直感に素直に従うことを大切にしています。

実際、この春休みに英国オックスフォードへ語学留学に行きました。留学に行くまで私は、英語を娯楽として楽しんだり、資格試験のために学んだりするものとして捉えていました。しかし、『英語』を生き抜くための術として必死に学んでいる人達がたくさんいるということを知り、感化されました。自分というメガネを通して見える世界が、いかに狭いものであるのか、また、自分の当たり前が実はそうではないということに気づかされた、非常に貴重な機会であったと思います。

修大での生活も2年目を迎えましたが、この1年間を通して、多くの新たな気づきを得ることができました。

私は英語を専攻しています。特に英文法の奥深さに魅せられています。英文法というと、ルールを暗記するものだと思われがちですが、実際には、ルールの背後に体系的で規則的な仕組みが存在しています。そのような仕組みを探究していく中で、無意識的に母語を使いこなせるという人間の言語能力の不思議さに強く惹かれるようになりました。ことばを無意識に使うことができるといういわば当たり前のことが、本当は当たり前ではないと思えたのです。どうして当たり前ではないのかという純粋な疑問が、この謎の解明に情熱を注いでおられる石田崇先生のもとに私を導いてくれました。先生は、昨年度の私の指導教員であり、英作文の講義も担当してくださいました。思えば、単なる偶然ではなく、これまでの積み重ねが、この出会いにつながったのかもしれませんが。

大学生活という貴重な時間は、長いようであつという間に過ぎていきます。だからこそ、無限にある選択肢の中からワクワクする道に進むためにも、これからも自分の直感に従っていきたいと思います。

最後に、いつも支えてくれている両親に感謝の意を込めて、終わりたいと思います。

2026年6月 修大図書館にて

ゼミ活動、 実習科目紹介

経済科学部の産学官連携による 地域課題解決プログラム 「ITソリューション実践」

経済科学部主専攻科目
「特殊講義b (ITソリューション実践)」
(2022年度生～)
担当教員：
脇谷直子、佐藤達男 (経済科学部教授)



経済科学部には「ITソリューション実践」という実習科目があります。ソリューション (Solution) とは課題解決を意味する言葉ですが、この授業では、単に与えられた課題に対する解決策を検討するのではなく、学生が自ら広島が抱える地域課題は何かを調査、検討、特定し、その課題を学部で学んできた IT (情報技術、デジタル) の知識や思考法を活用して、学生目線での解決策を提案するという一連のプロセスを実践します。

2025年度は、株式会社ひろぎんホールディングス・株式会社 NTT データ中国・広島県庁による産学官連携プログラム「IT・デジタル技術の活用による地域の課題解決」と、TOPPAN デジタル株式会社 (現 TOPPAN 株式会社) の広島サテライトオフィス主催の「デジタルを活用した地域課題へのアプローチ」の2つの実習先のプログラムに学生が参加しました。

それぞれの実習先では、本学の学生と広島県内の他大学の学生がグループになって実習に取り組みます。この授業では、知識の修得だけでなく、大学内から外に出て、所属や考え方が異なる他者と協力して、課題解決のプロセスを仕事の実務として行うことをイメージして実体験することによって、学生が今後のキャリアを考える有効な機会となることもねらいとしています。

実習先での成果発表会だけでなく、学内でも成果発表会を実施し、参加した学生一人ひとりが実習成果のプレゼンテーションを行います。学生からは、地域課題の調査からアイデア創出、ビジネスモデル提案までを、他大学の学生とのグループワークで行ったことにより新たな刺激を受け、多くの学びが得られたといったコメントが寄せられています。

引き続き、2026年度の夏も2つの実習先プログラムに、経済科学部の経済情報学科、現代経済学科の学生が参加し、新たな学びを体験します。

伝統の味を今の暮らしに 学生による南蛮漬けレシピ 開発の取り組み

健康科学部健康栄養学科
嶋田ゼミ：調理科学、食文化、食育



中国地方では、魚を使った南蛮漬けが家庭料理として広く親しまれています。瀬戸内海に面した地域では新鮮な魚が手に入りやすく、暑い季節でも食べやすいさっぱりとした味わいが好まれることから、各家庭にそれぞれの“わが家の味”が受け継がれてきました。しかし、南蛮漬けは、揚げ油の準備、魚や野菜の下ごしらえなど、手間がかかる工程が多い料理です。今年度のゼミでは、地域の食文化を理解し、次世代につなぐ力を育てることを目的に、(株)ミツカンと連携し、カンタン酢を使った「魚を使った南蛮漬けレシピの考案」に取り組みました。

今回の課題では、10名のゼミ生がそれぞれ独自のレシピを作成しました。カンタン酢は甘味・酸味・塩味のバランスが整った調味酢で、南蛮漬けの味を手軽に再現できる点が特徴です。学生たちは、この手軽さを生かしながら、家庭で無理なく、簡単に作れる南蛮漬けを目指して工夫を重ねました。具体的には、下処理の簡略化、魚種の選択、揚げ焼きで油の使用量を抑えフライパン1つでできる調理法など、忙しい家庭でも取り入れやすい工夫を積極的に取り入れました。試作では、アジやサバといった定番の青魚に加え、鯖や鮭、ししゃもなどを使い、味付けを韓国風や洋風にアレンジするといった学生ならではの発想が光りました。こうした取り組みの成果として、学生が考案したレシピの一部が中国新聞社発行の生活情報誌「アシタノ」に掲載されました。地域の食文化を学びながら創作したレシピが、実際に地域の読者に届けられたことは、学生にとって大きな励みとなりました。

今回のレシピ開発を通して、学生たちは、地域の食文化を現代の生活やニーズに合わせて創意工夫する力を養うことができました。中国地方に根づく南蛮漬けの魅力を、次世代の食の担い手である学生たちが新たな形で表現した本取り組みは、地域食文化の継承に向けた意義ある実践となりました。



揚げはまちと夏野菜のさっぱり南蛮



鯖の南蛮タルタル



サーモンのバジル南蛮漬け

親と子から大人同士へ

後援会監事 うるしだに めぐみ 漆谷 恵美

「広島修道大学に行きたい！」そう息子が言い始めたのは高校2年生の時、オープンキャンパスで模擬授業を受けたことがきっかけでした。母子家庭で経済的な不安もあり公立に進学してほしい気持ちもありましたが、目を輝かせて模擬授業で学んだことを語り、そこから広島修道大学に入るため自分自身で対策を立てて取り組む姿、合格通知を受け取った時の満面の笑顔を見たときは、私も喜びで胸がいっぱいになりました。

入学後はアルバイトを3つ掛け持ちして自分で学費を工面しながら、授業を欠かさず受け、その合間にボランティア活動、さらにその隙間で友達と遊ぶ、と忙しくも充実した学生生活を送っているようです。

一緒に過ごす時間は少なくなりましたが、たまに自宅でゆっくりしているときには面白かった講義の内容や、関心を引かれたことを話してくることがあり、それを通して社会情勢について語り合うこともあります。最近の仕事の相談に乗ってもらうこともあり、息子の言葉になるほど！と新しい視点に気づかされることも多く、大人になったなぁと成長を実感しています。大学生活も折り返し、就活もはじまりました。残りの大学生活でたくさんの学びと経験を積み重ね、社会にはばたいてもらいたいと願っています。

感謝と尊敬

国際コミュニティ学部 地域行政学科 3年 うるしだに そうた 漆谷 壮太

大学に入学してから、親の偉大さやありがたさをこれまで以上に実感するようになりました。特にアルバイトを始めてからは、お金を稼ぐことの大変さを身をもって知り、これまで支えてくれた母への感謝の気持ちが一層大きくなりました。

大学選びの時、公立大学という選択肢もあり、経済的な負担などについて何度も話し合いました。それでも、私が広島修道大学で学びたいという思いを尊重し、最後まで応援してくれたおかげで、広島修道大学に入学することができました。

広島修道大学は地域との関りが深いためボランティア活動を積極的に行っています。特に学生主体で行う地域つながるプロジェクトは企画、実施、地域の方々との連携といった今後必ず役立つ力を身に着けることができました。

現在は、学費の負担を少しでも減らしたいという思いから3つのアルバイトを掛け持ちし、学業やボランティア活動、趣味との両立に励んでいます。その中で、母子家庭でありながら高校まで野球やピアノなどの習い事を続けさせてくれた母の苦勞や愛情の大きさを改めて感じています。

最近是一緒に過ごす時間は減りましたが、就職活動の相談にも親身になってくれるなど、今も変わらず私を支えてくれています。これからも感謝と尊敬の気持ちを忘れず、大学での学びや経験を大切にしながら、人として成長し、少しずつ恩返しができるよう努力していきたいと思います。



子どもの経験、親の経験

後援会評議員 とうどう ひろのり 藤堂 宏憲

我が家の子育てにおいて、私がずっと意識してきたのは「子どもにたくさんの経験をさせること」そして「自分で決断させること」でした。成功も失敗も、どちらの経験も本人の糧になると信じ、息子たちの挑戦と決断を見守ってきたつもりです。

長男が3年前に進学で上京し、次男も修大への進学で新しい世界へ進んだ今、家族の形はまた違う形へと変化しているのを感じます。毎日の食卓が少し静かになり、あれこれと口出しすることも少なくなり、寂しさを感じる瞬間もあります。現在は学業に励みながら（と信じたい）、友人との旅行や遊びも満喫している様子です。アルバイトも始めお金を稼ぐという事の意味を知り、手本となる大人そうでない大人、様々な大人と出会い、世界も広がり子どもにとっては最大の「新しい経験」の真っ最中なのだと思います。新しい世界では大小関わらず自分で決断しなければならない場面も多くなっているはず。これから始まる就活もそのひとつです。

迷ったときには人生の先輩として相談に乗り、一歩引いてエールを送り続けたいと思っています。いつでも安心して帰ってこられる場所であり続ける、そんな当たり前のことを大切にしていきたいと思っています。

少しずつ大人になって離れていく我が子をただ寂しく思うのではなく、自立していく姿を誇らしく見守ること。それが、今の私が迎える「親としての経験」なのかもしれません。大学卒業までの2年半は、離れていても心で深く繋がる「新しい家族の形」を親子で一緒に育てていく大切な時間です。

大学2年目、新たな成長へ

商学部 商学科 2年 とうどう ゆう き 藤堂 有樹

大学生生活も2年目となり、入学当初に比べて生活にも慣れ、学びの内容にも少しずつ専門性が出てきました。その中で改めて強く感じているのは、実家で暮らしながら支えてくれている家族の存在の大きさです。

日々の食事や生活面の多くを家族に支えてもらっており、そのおかげで学業に集中できる環境が整っていることに感謝しています。特別なことではなくても、毎日の会話や何気ない時間が安心感につながっており、実家で生活しているからこそ得られている支えだと感じます。

一方で、大学生としての自覚も少しずつ芽生え、自分の行動や時間の使い方に責任を持つ必要があると感じる場面も増えてきました。家族に頼るだけでなく、自分自身でできることを増やしていくことも今後の課題だと考えています。

これからは、家族への感謝を忘れず、その支えに応えられるよう、日々の学びや経験を大切にしながら成長していきたいと思っています。



兄 有樹さん 父